

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37666
事業名	観光客受入環境整備費					
評価担当課	所 属	経)観光・MI 観光・MICE			電話番号	011-211-2376
施策名	札幌市・北海道の強みである食や観光分野の産業が、時代の潮流を					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	・外国人観光客の増加に伴い、無料Wi-Fiの整備・運用や、観光案内サインの多言語化・デジタル化、観光バス路上駐停車削減のための巡回整理や駐待機場の運営等を実施してきた。 ・市内の周遊を促進するにあたり、各観光施設に向かうための交通機関の乗り換えや駅・停留所からの導線案内に課題があるため、効果的な誘導サインの設置が必要。 ・無料Wi-Fiは設置後10年程を経過し、機器の更改が必要となっている。また、通信技術の進展などにより外国人観光客の通信手段も多様化しており、都心部のみならず郊外も含め市内全域を観光する来札者が必要な情報を取得でき、快適に観光できる環境整備が必要である。 ・観光施設における消費単価の向上や宿泊施設の多言語化・多様な文化の受入体制等の整備が必要である。
	事業内容(何を実施し)	①観光バス乗降場や駐車場の整備及び路上駐停車対策 ②既存の観光案内サインの維持管理 ③観光施設の魅力向上につながる改修等に係る費用の補助 ④Sapporo City Wi-Fiの運用 ⑤市内宿泊施設に対し、外国人観光客の受入環境整備に係る経費を補助
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	①都心部の観光バスの危険・迷惑な駐停車を減らす ②観光案内サインの適切な配置・民間活力の活用等による適切な維持管理を行う ③市内観光施設の受入環境整備や客単価の向上 ④公衆無線LAN環境で観光客の利便性向上を図る ⑤宿泊施設におけるインバウンドへの受入環境整備
	他都市の状況	②大阪市において観光案内サイン配置基準の策定、横浜市・仙台市等において広告付きのサインの導入実績あり。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	29,763 千円	うち特定財源	13,250 千円	正規職員業務量	0.9 人工
令和5年度予算額	84,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.9 人工
令和5年度決算額	35,580 千円	うち特定財源	35,526 千円	正規職員業務量	0.9 人工
令和6年度予算額	58,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.7 人工

指標	アウトプット活動指標1	宿泊施設受入環境整備補助金の補助件数の合計(累計)			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		-	100	23	200	300	300
	↓						
	アウトカム成果指標1	観光地としての総合満足度(外国人)(満足)			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		99.00%	96.00%	90.60%	96.10%	96.20%	96.30%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	宿泊施設受入環境整備補助の利用は低調であり今後、周知を強化していく必要がある。各取組の実施により満足度は上昇した。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	観光案内サインの効果的な配置・民間活力の活用等による適切な維持管理を行うため、調査検討業務を実施。
来年度以降の方向性	老朽化したWi-Fiの更新について、外国人観光客向けの通信手段の活用実態を踏まえ、通信環境のあり方等について検討を行う。観光案内サインについて、調査検討の結果を踏まえ、今後の整備手法を検討する。観光バスの路上駐車等への対策のため、体制の強化・見直しを行う。